

1 まちのようす

三島市のすがた

わたしたちのまち三島市は、静岡県^{しずおかけん}の東部、伊豆半島^{いずはんとう}の入り口にあります。東には箱根西麓^{はこねせいりく}が広がり、北には日本一高い富士山や愛鷹山^{あいたかやま}、南は田方平野^{たがたへいや}から伊豆の山々、西には香貫山^{かぬきやま}、さらに駿河湾^{するがわん}を見わたせる自然にめぐまれた景色の美しいまちです。

そんな三島市も昔と今とではずいぶん変わってきました。身のまわりのようすにも目を向けながら、三島市全体の自然のうつりかわりを見てみましょう。

三島市の昔と今

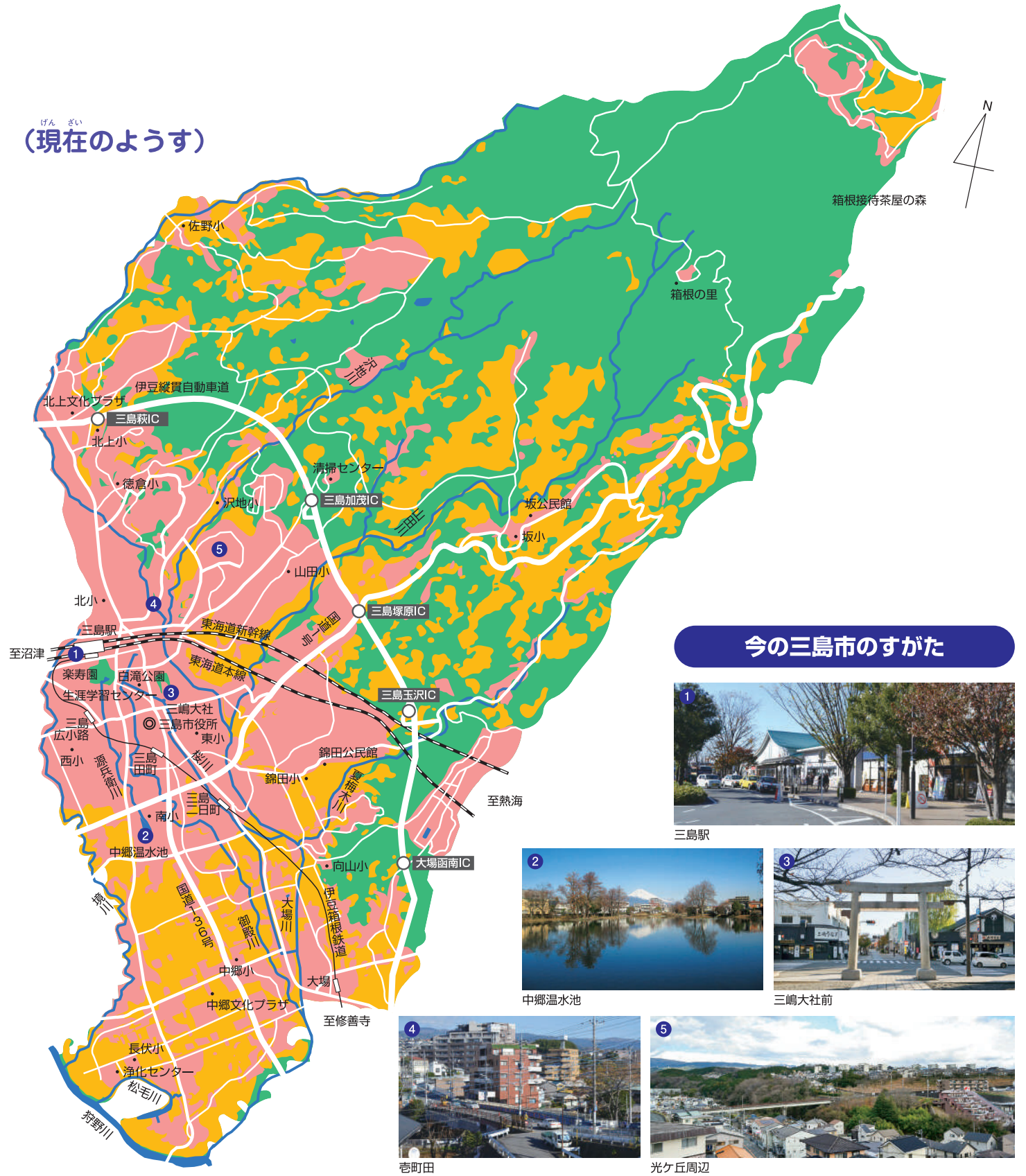
(昭和40年代のようす)



昔の三島市のすがた



(現在のようす)



今の三島市のすがた



三島市の地形と気候

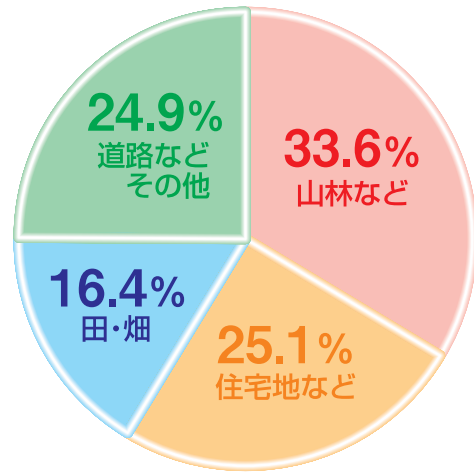
地勢と土地利用

三島市は、東西が約11km、南北が約13kmで、広さ(面積)は約62km²です。最も高い場所は神奈川県箱根町との境にある「海ノ平」で、海からはかっておよそ941.5m、最も低い場所は「長伏」で6mとなっています。

土地の利用のしかたをみると、箱根西麓に広がる森林を中心に山林などの割合が全体の土地の33.6%をしめています。新しい家や大きな団地ができたことにより、住宅地は年々ふえている一方、農家がへったことで、田・畑は少なくなっています。

令和5年度 土地利用の現状

資料:「令和5年度 概要調査」



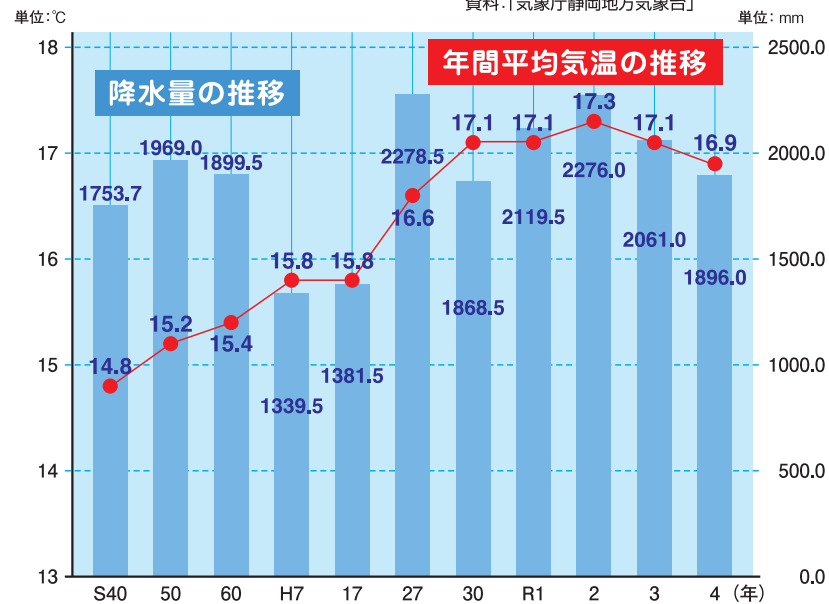
気温と降水量

三島市は平年値で気温が16.3℃、降水量が1,868.2mmで、温暖な気候です。

冬は暖かく乾燥し、夏は暑く雨が多い、夏と冬、昼と夜の温度差が比較的大きいことも特徴です。

三島市の年間平均気温と降水量の推移

資料:「気象庁静岡地方気象台」



見てみよう!!

全国の気温と降水量(平年値)

都道府県	平均気温	降水量
●札幌(北海道)	9.2℃	1,146.1mm
●東京(東京都)	15.8℃	1,598.2mm
●鹿児島(鹿児島県)	18.8℃	2,434.7mm
●那覇(沖縄県)	23.3℃	2,161.0mm

※平年値とは、過去30年間の平均の値(平成3年から令和2年まで)のこと

進む地球温暖化とふえる異常気象

近年、大規模な気象災害が多発しているのは、地球温暖化が一因とも言われています。2023年6月、活発な梅雨前線によって西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、東・西日本の太平洋側の多くの地域で24時間降水量が6月としての1位を更新しました。また、夏の気温は1898年の統計開始以降最も暑くなりました。

世界に目を向けると、スペインやイギリスで40℃をこえる記録的な高温、アフリカやアメリカなど世界各地で多大な被害をもたらしたハリケーンやサイクロンの発生、アフリカ、ブラジル、パキスタンでの豪雨による大規模な洪水など多くの異常気象が発生しています。



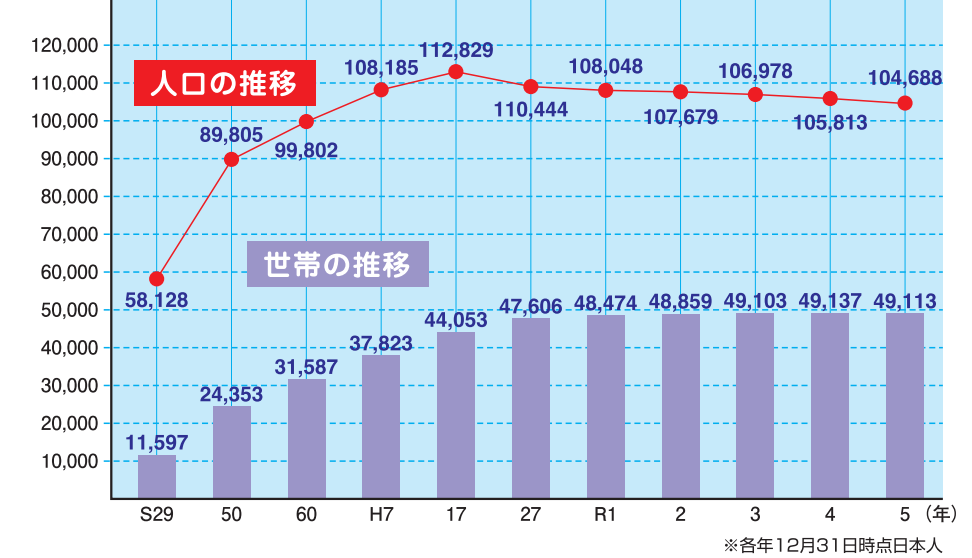
出典:国土地理院

三島市の人口と産業

人口の変化

三島市は、昔の三島町、北上村、錦田村、中郷村がいっしょになって今のすがたになりました。当時(昭和29年)の人口は58,128人でしたが、現在(令和5年)は、104,688人で、平成17年以降減少しています。世帯数は11,597世帯から49,113世帯と約4倍になりました。これは一家族の人数が平均5人から2.1人と少なくなってきたことによります。

三島市の人口・世帯の推移



産業の割合

三島市では、物を売ったり、サービスをしたりする仕事(第三次産業)が最も多く、全体の71.2%をしめています。

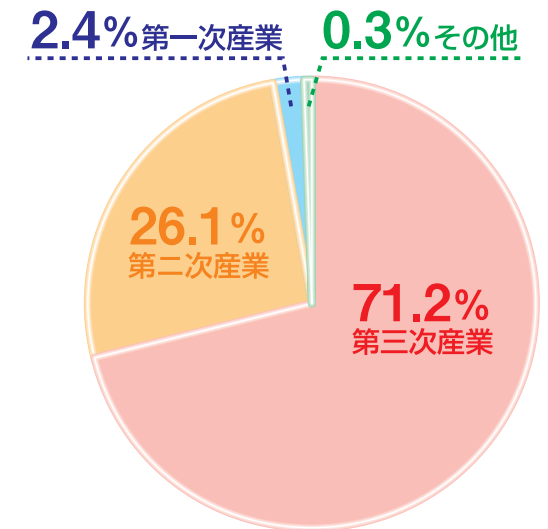
2番目は、家を建てたり、物を作ったりする仕事(第二次産業)で、26.1%となっています。

そして、最も少ない仕事がお米や野菜を作る農業など(第一次産業)で、年々減少しています。



令和2年度 産業別人口の割合

資料:「三島市 令和2年国勢調査報告書」



農業のうつりかわり

農業は、自然と深い関わりがあります。田や、水を引く水路、人が通るあぜ道はカエルやザリガニをはじめ、様々な動植物のすみかになっています。

最近では、ホタルやメダカ、ドジョウのすがたを見かけることが少なくなりました。これは、水路やあぜ道がコンクリートなどで整備され、自然な状態がへったことが原因と思われます。そして、農家がへり、田や畑が少なくなりましたことも大きく関係しています。

農家人口と田や畑の面積の推移

資料:「農林業センサス」

